

**目的**

平成 23 年度、厚生労働省の「在宅医療連携拠点事業」の委託を受けて協議会を設立し、活動をしている。11 年目の活動を行った。

1. 多職種連携の課題に対する解決策の抽出
2. 在宅医療従事者の負担軽減の支援
3. 効率的な医療提供のための多職種連携
4. 在宅医療に関する地域住民への普及啓発
5. 在宅医療に従事する人材育成

**活動内容**

(1) 合同会議

令和 3 年度、「食支援」を年間テーマに 4 回の合同会議を行った。

「患者・利用者の栄養管理に関する取り組み」～誤嚥性肺炎の予防を目的とした嚥下調整食の情報共有と統一に向けて～

新型コロナウイルス感染症のため、すべてオンライン (Zoom) での開催となった。

第 1 回合同会議(令和 3 年 6 月 28 日 106 名参加)

・話題提供

「嚥下調整食学会分類 2013」と「刻み食の危険性」

西岡病院 言語聴覚士 小笠原 剛

西岡病院における「嚥下調整食学会分類 2013」導入に向けた取り組み

西岡病院 管理栄養士 山口 有希

・NewsLetter 第 54 号に当日の様子を掲載

第 2 回合同会議 (令和 3 年 9 月 27 日 121 名参加)

・講演・実演

「誤嚥予防と関連する車いすシーティング」

日本医療大学保健医療学部特任教授 八田 達夫

・NewsLetter 第 55 号に当日の様子を掲載

第 3 回合同会議(令和 3 年 11 月 30 日 105 名参加)

・実践報告

「食事に関する多職種連携について～再入所時栄養連携加算を通じて」

特別養護老人ホームみどりの丘 施設長 土谷 彰子

「誤嚥性肺炎予防の取り組みについて」

小坂病院 医療ソーシャルワーカー 土塚 亜希

・NewsLetter 第 56 号に当日の様子を掲載

第 4 回合同会議 (令和 4 年 3 月 29 日 84 名参加)

・実践報告

「明日からできる嚥下調整食」

西岡病院 管理栄養士 山口 有希

「ライフふくまつの食支援について」

介護老人保健施設ライフふくまつ

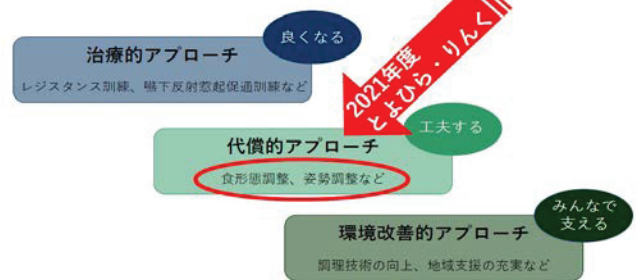
管理栄養士 松田 千永

・NewsLetter 第 57 号に当日の様子を掲載



▲オンラインによる合同会議の様子

“食べる”を支えるための3つのアプローチ



▲「嚥下調整食学会分類 2013」と「刻み食の危険性」

(2) 講演等

令和 3 年度北海道大学病院地域連携懇話会

「コロナ禍における地域連携」

西岡病院 医療ソーシャルワーカー 岡村 紀宏

北海道在宅医療推進支援センター主催

「人生会議・ACP 普及に向けた医療従事者向け研修会」

- ・第1回 ACP(人生会議)の基本  
令和4年2月6日(日)(WEB開催・オンデマンド配信)  
講師 一般社団法人日本アドバンス・ケア・プランニング研究会  
代表理事 三浦 久幸 先生(国立長寿医療研究センター在宅医療・地域医療連携推進部長)  
座長 西岡病院 院長 五十嵐 知文
- ・第2回 ACP(人生会議)の取り組み事例から学ぶ  
令和4年2月22日(水・祝)(WEB開催・オンデマンド配信)  
講師 一般社団法人日本アドバンス・ケア・プランニング研究会  
理事 西川 満則 先生(国立長寿医療研究センター緩和ケア診療部)  
座長 西岡病院 医療ソーシャルワーカー 岡村 紀宏

(3) 演題発表

第6回 日本アドバンス・ケア・プランニング(ACP)研究会 年次大会

令和3年9月26日(日) 10:30~16:00

大会テーマ:『With コロナ時代の ACP』

演題発表

- ・「新型コロナウイルス陽性病棟における患者意向と転帰の検討」
- ・「個別性のある人生会議を提案するために～年齢、病状に合わせたアドバンス・ケア・プランニング」

(4) 機能強化型在宅療養支援病院・在宅療養支援診療所に関するカンファレンス

Zoom によるオンライン開催で行った。

出席医療機関

1	西岡病院	中島 茂夫 副理事長 五十嵐 知文 院長
2	西岡水源池通りクリニック	寺本 信 院長
3	ごう内科クリニック	鈴木 郷 院長
4	勤医協月寒ファミリークリニック	塩原 康弘 院長
5	ごう在宅クリニック	中嶋 豪 院長
6	こだま在宅内科緩和ケアクリニック	児玉 佳之 院長
7	ファミリークリニックさっぽろ山鼻	松田 諭 院長

(5) 委員派遣

- ・北海道在宅医療推進センター運営協議会(年2回)  
五十嵐 知文、岡村 紀宏
- ・北海道在宅医療推進センター実務者会議(年6回)  
岡村 紀宏

(6) 研修地域拠点受託

- ・受託研修名  
地域包括ケアの中で展開する ACP のための共有意思決定支援(SDM)を学ぶ研修会
- ・国立長寿医療研究センター／在宅医療助成勇美記念財団
- ・内容
  - ① アドバンス・ケア・プランニング(Advance care planning:ACP)を実践するために、共有意思決定支援(Shared decision making:SDM)を用いた対話技能訓練
  - ② ACP エリアリーダーとして地域包括ケアシステムの中で ACP 連携を展開するための活動計画立案やマネジメント視点の獲得
- ・地域拠点  
西岡病院(北海道)、青森県立中央病院(青森県)、佐久総合病院(長野県)、岡崎市民病院(愛知県)、安芸地区医師会(広島県)、頤田病院(福岡県)
- ・当拠点は、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、介護支援専門員、理学療法士、言語聴覚士の22名の受講となった。
- ・相談力向上研修会を2回開催した。最終研修会は次年度開催予定。